

平成27年度第1回横浜市市民活動推進ファンド
団体登録及び助成金交付審査等について

1 市民活動推進ファンド登録団体の選考について【審査】

横浜市市民活動推進ファンド団体登録要綱の申請要件に照らし、1団体について、市民活動運営支援事業部会が審査を行いました。※表1のとおり

2 市民活動推進ファンド助成金申請について【審査】

(1) 助成内容

平成27年度第1回に登録団体が行う市民公益活動に係る事業の経費について行いました。今回は、平成27年3月5日までに受領確認ができた寄附金を活用します。

(2) 審査

登録団体からの助成金交付申請内容について審査基準に基づき、市民活動運営支援事業部会が審査を行いました。

(3) 申請状況 13事業 4,214,600円

(4) 交付結果 13事業 4,164,600円

※表1のとおり

3 市民活動推進ファンド登録団体の抹消について【報告】

法人を解散した団体・事務所を市外に移転した団体について、横浜市市民活動推進ファンド団体登録要綱の申請要件に照らし、登録団体から抹消します。※表1のとおり

4 平成27年度よこはま夢ファンド事業予算について【報告】

(1) 平成27年度よこはま夢ファンド組織基盤強化

予算 4,090,000円 (26年度予算 0円)

内容 ① 組織基盤強化助成金 300,000円×10団体分=3,000,000円

② ファシリテーター派遣に係る報償費

100,000円×10団体=1,000,000円

③ 登録団体情報交換会講師謝礼 90,000円

(2) 平成27年度市民活動支援専門アドバイザー派遣事業助成金

予算 500,000円 (26年度予算 450,000円)

内容 アドバイザー派遣経費の一部助成

(3) 講座

予算 800,000円 (26年度予算 790,000円)

内容 ① 会計・税務等講座、労務講座、プロのNPOをつくるための講座(市民活動支援センター委託) 750,000円

② ファンドレイジング講座等 50,000円 (裏面あり)

(4) 広報

予算 400,000 円 (26 年度予算 50,000 円)

内容 リーフレット・ポスター等のデザイン委託・印刷

5 平成 26 年度第 3 回横浜市市民協働推進委員会市民活動運営支援事業部会

(1) 開催日時

平成 27 年 3 月 6 日 (金) 13 時 30 分～16 時 00 分

(2) 市民活動運営支援事業部会名簿 (部会長を除き五十音順)

	氏名	所属等
部会長	名和田 是彦	法政大学 法学部 教授
専門委員	泉 一弘	特定非営利活動法人 ふらっとステーション・ドリーム理事長
専門委員	清水 靖枝	長屋門公園歴史体験ゾーン 事務局長
専門委員	堤 剛史	横浜信用金庫 融資部 企業経営支援チーム
推進委員	時任 和子	特定非営利活動法人 夢・コミュニティ・ネットワーク理事長

平成27年度第1回横浜市市民活動推進ファンド登録団体

	団体名	主な分野	結果
1	ウイニナージャパンとつか	まちづくり・環境、国際・人権・平和	登録

平成27年度第1回横浜市市民活動推進ファンド登録団体助成金

	団体名	団体概要等	事業名・事業内容等	申請金額	団体あて希望 寄附金額 (平成27年3月 5日現在)	交付金額
1	フェアスタートサポート	児童養護施設や自立援助ホーム及びシエルター等の施設に入所し、社会的養護の下で生活している児童へ、将来の自立へ向けた支援を行い、全ての子ども達が就業、学業に関して平等で公平な機会を与えられる社会の創出に寄与すること、また、就業を果たした若者へ相談窓口や交流会等のアフターフォローを提供する事で、彼らの早期離職や社会的な孤立を防ぎ、安定した社会人生活を持続していく手助けを行うことを目的としている団体です。	【児童養護施設等の職員向け就労支援勉強会の開催】 就労支援の専門知識の提供、社会資源の紹介をテーマに「就労支援講座」を開催する。 頻度:2か月ごとに開催、1講座につき2会場で開催 場所:東京会場、横浜会場 対象:児童養護施設や自立援助ホーム等の児童福祉施設の職員、里親、一般参加者 内容:①18歳で就職する若者のキャリア形成のポイント ②社会資源紹介(障がい者就労支援団体、派遣会社等) ③企業採用担当から聞く高校生の内のできる就職準備	70,000円	0円	70,000円
2	横浜こどものひろば	子どものためのすぐれた芸術・文化活動の振興を行い、地域において子どもたちの成長を図り、かつ子ども自身の社会参加の場として、子どもの文化的権利が保障される豊かな子ども時代の創造に寄与することを目的としている団体です。	【人間に出会う舞台芸術体験事業】 オペラ「口はロボットの口」オペラシアターこんにやく座 ①公演日時:平成27年5月28日(木) 18時～ ②場所:青少年センターホール ③対象:小学生とその親 約600名	380,000円	380,000円	380,000円
3	こんにちは・国際交流の会	地域で身近に接する人々に対して、国際交流活動、国際理解活動、国際協力活動並びにこれらに関する学習活動などの事業を行い、日本人、外国人の交流を進め、相互の理解と協力関係の向上に寄与することを目的としている団体です。	【国際交流事業～「バス研修旅行」～】 日本語教室学習者を対象に、バス旅行を通して、日本の文化・風習に触れる場と、国籍を超えた国際交流の場を提供する。 平成27年10月25日(日)実施予定	200,000円	835,000円	200,000円
4	横浜移動サービス協議会	「移動の権利は基本的な人権の一つ」であると考え、移動支援に関わる団体・個人が連携し、その活動形態の違いを活かし協働することにより移動困難な人に対して、1. 移動の手段を確保できること2. 移動に関する権利が社会的に保障されること上記の実現に関する事業を行い、あらゆる人が自分らしく生きること深く結びつく、移動の自由を寄与することを目的としている団体です。	【チャレンジサロン運営事業】 障がい当事者、高齢者、健常者、誰もが自由にのびのびと過ごし、当団体の拠点がある関内駅前の商業ビル・セルテの特徴を生かし、これまで福祉に関わりの無かった人たちも、ショッピングの帰りに、気軽に立ち寄ることができる、「みんなが集まれる場」、「障がい理解の機会提供の場」としていきたい。 ・公開サロン(年3・4回) ・しゃべくりサロン(月1回、みんなで出かけ含む) ・モニタリング活動(福祉用具のモニター、福祉施設の調査等) ・広報紙発行	623,600円	944,400円	623,600円
5	地域コミュニティネットワーク・ヨコハマ	地域における人的ネットワークの絆を生かして、主として不特定多数の市民を対象に、地域福祉や街おこし等に関する事業を行い、新しい地域コミュニティの創造と地域交流を通して、公益の増進に寄与することを目的としている団体です。	【地域団体との協働による障害者自立支援事業】 等身大肖像画創作教室を地域の福祉施設を会場に開催すると共に、音楽を通じた地域の人たちとのノーマライゼーション交流会を開催する他、創作された等身大肖像画の展示会を「アート展」として、地域の銀行の店舗などを会場に開催する。 ・ノーマライゼーション交流会の実施 ・等身大肖像画創作教室・展示会の開催 ・福祉の広場フェスティバルへの参加	800,000円	800,000円	750,000円
6	こどもりクラブ	小・中学生を中心とした子ども達に対して、森と川、海に関する自然環境保全事業を行い、「白い雲・緑の森・青い海(地球環境)」を守ることを次世代に継承していくと共に、子ども達の健全育成に寄与することを目的としている団体です。	【まちの中の森づくり活動】 子ども達を始め、色々な世代の方々の興味やニーズに合った形で環境教育を行うことにより、環境保全活動を進め、将来的に自然環境の保全活動に従事する人材の育成や、活動の継承を目指す。 ・夏休み親子木工教室 ・環境教育出前事業 ・エコ活動推進ノートの配付と実施 ・DIY女子会 ・こどもりクラブ通信の発行	70,000円	0円	70,000円

	団体名	団体概要等	事業名・事業内容等	申請金額	団体あて希望 寄附金額 (平成27年3月 5日現在)	交付金額
7	ミニシティ・プラス	こどもや青少年が創造性や自主性を発揮しながら創るまちづくりの体験事業を通して、次世代の地域まちづくりを担う人材を育成していくとともに、広く市民へまちづくりの意義についてプロモーションを図ることにより、暮らしやすい持続可能な地域まちづくりを推進することを目的としている団体です。	【特命子ども地域アクタープロジェクト】 公募から選考された青少年は、アクターとしてまちづくりについて講座等で学び、課題を抱えるまちづくり団体(公募)とお見合い会を経て派遣先を決め、派遣先のまちづくり団体の事業に参画し、課題または使命を解決するため事業計画をつくり、提案する。特命終了後、アクターはフォーラムで成果を報告する。青少年が地域社会に参画できる場づくりが当たり前になることで、青少年にとっては生きる力が育まれ、地域にとってはまちづくりの担い手を育成できる。	300,000円	1,672,000円	300,000円
8			【こどもが創るまち「ミニヨコハマシティ」】 子どもたちが自分たちの理想のまちをつくりたいためのアイデアを出し合う事前会議を重ね、実際に数日間の「ミニヨコ」という仮想のミニシティをつくり、運営するプロジェクト。 ・イベント:平成27年4月3日～5日、平成28年3月下旬「ミニヨコハマシティ」イベント開催 ・子ども会議:子ども会議の開催(毎月) ・全国サミット参加:平成27年8月 こどものまち全国サミットin静岡に参加	1,361,000円		1,361,000円
9	峠工房	知的障がい者、発達障がい児・者、小中学生や一般市民に対して、学外支援や交流活動に関する事業を行い、社会福祉に寄与することを目的としている団体です。	【「ライフステージ・ソーシャルスキルレッスン」の立ち上げ・試行事業】 発達障害者支援法施行から約10年。理解や支援が広がってはいるが、子どもからおとなへ成長していく過程での教育のばらつきや、切れ目のない支援をどうするか等の課題が大きい。その手薄な部分をフォローするため、当団体で取り組んできた生活塾年長者部門を充実、発展させていく。 ひとりひとりの特性や個性、学び方の違いなどに応じた個別対応。原則として、個人レッスン、習い事形式にて行う。	100,000円	100,000円	100,000円
10	よこはま地域福祉研究センター	広く一般市民や福祉事業に関わる実務者・研究者に対して、あるいは、市民・実務者・研究者とともに、地域福祉の調査・研究、人材育成、ネットワーク構築、福祉サービス評価に関する事業を行い、福祉の充実・発展に寄与することを目的としている団体です。	【障がい者と家族の地域生活支援事業「バリアフリーワークショップ」】 支援者、家族、障がい当事者がともに身体と心のつながりを捉えなおし、自己表現やコミュニケーションの手段として身体を自由に使えるよう、体験型・参加型のワークショップを開催する。	70,000円	0円	70,000円
11	横浜スポーツアンドカルチャークラブ	市民に対して、総合型地域スポーツクラブとして、サッカーを中心としたスポーツの普及に関する事業等を行い、スポーツの振興及び子どもの健全育成に寄与することを目的としている団体です。	【高齢者向け体操教室事業】 横浜市中区の高齢者を主な対象に健康増進を目的とした体操を指導。 ①会場:本牧緑ヶ丘町内会館 実施期間:平成27年4月1日～9月30日 実施日:隔週水曜日(月2回) 計12回 ②会場:寿町総合労働福祉会館 実施期間:平成27年4月1日～9月30日 実施日:四半期毎に1回 計2回	70,000円	0円	70,000円
12	鶴見川流域ネットワーク	鶴見川とその流域、及び多摩三浦丘陵を中心とした領域において、流域地図の共有をすすめ、安全・やすらぎ・自然環境・福祉重視の理念のもと、自然と都市の共生を可能にする流域の暮らしと文化を創造するため、流域視野の交流・学習・実践コミュニティの形成を日常活動を通じて促しつつ、河川環境の整備・保全、流域の健全な水循環の回復、水と緑のネットワークの保全・再生等に貢献し、水と緑・歴史・文化を軸としたまちづくり及び水辺等を利用した環境教育、福祉活動等を調査、研究、企画、提案、実践または支援し、さらに市民・行政・企業間の多彩なパートナーシップを工夫・促進することを目的としている団体です。	【バクの流域ワンダーランド 学習スタンプラリー2015】 本スタンプラリーは、バクの川鶴見川について、治水、利水、環境など水循環の単位としての流域を理解し、またそこに暮らす生きものたちとの出会いなども通して、流域を楽しみ学び、鶴見川流域水マスタープランを推進することを目的とする。 ・実施期間:平成27年4月29日～10月31日(参加賞交換期限:平成28年3月31日)	100,000円	70,000円	100,000円
13	アース・エコ	持続可能な社会実現のために、地域の環境保全及び環境教育・環境学習を推進することを目的としている団体です。	【親子工作教室で地球温暖化防止】 小学生とその保護者を対象に親子工作教室を3回開催する。工作教室では、気候変動の原因、影響と対策について学び、省エネ実験を体験して省エネの具体的な方法を学び、親子で取り組める省エネの行動目標を立てる。なお、開催にあたっては、地区センター等の公共施設に協力を求め、共同実施する。共同実施者には参加者募集と会場提供を依頼する。	70,000円	100,000円	70,000円
				4,214,600円	4,901,400円	4,164,600円

平成27年度第1回横浜市市民活動推進ファンド登録抹消団体

	団体名	抹消理由
1	CRIATIVOS-HIV・STD関連支援センター	法人の解散(H26.9 解散・清算終了)
2	横浜アートプロジェクト	事務所を市外へ移転したため
3	日本セイルトレーニングスクール	事務所を市外へ移転したため